



4101

使用説明書

動物用医薬品

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

エクエヌテクト ERP

(馬鼻肺炎生ワクチン)

【製法及び性状】

本剤は、馬ヘルペスウイルス1型を馬胎子の皮膚由来継代細胞で増殖させ、そのウイルス液を濃縮し、安定剤を加えて凍結乾燥したのち、減圧下で封じたものである。

乾燥ワクチンは、帯黄褐乳白色ないし淡黄白色の乾燥物で、添付の溶解用液を加えて振り混ぜると容易に溶解し、淡黄橙色透明の均質な液体となる。

溶解用液は、リン酸緩衝食塩液に色素を加えたもので、赤橙色で透明な液体である。pHは6.8～7.4である。

【成分及び分量】

乾燥ワクチン1バイアル(5頭分)中

EFD-C₁細胞培養馬ヘルペスウイルス1型ΔgE-NIBS株 5×10^{4.5}TCID₅₀以上

乳糖 100mg

ポリペプトン 50mg

ポリビニルピロリドン 3.0mg

溶解用液10mL(5頭分)中

塩化ナトリウム 80mg

りん酸二水素ナトリウム二水和物 4.3mg

りん酸水素二ナトリウム・12水 26mg

フェノールレッド 0.1mg

精製水 残量

【効能又は効果】

馬ヘルペスウイルス1型感染による呼吸器疾病の症状の軽減

【用法及び用量】

小分製品に添付の溶解用液を加えて溶解し、その2mLずつを3週間隔で2回、6か月齢以上の馬の筋肉内に注射する。

【使用上の注意】

(一般的注意)

1. 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。

(使用者に対する注意)

1. 誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗 原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
馬鼻肺炎ウイルス	否	生	無	

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

2. 事故防止のため、作業時には防護メガネ、マスク、手袋等を着用すること。
3. 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(馬に対する注意)

1. 制限事項

- (1) 本剤の注射前には健康状態について検査し、次のいずれかに該当すると認められる場合は注射しないこと。
 - ・重大な異常(重篤な疾病)を認めたもの。
 - ・妊娠中のもの。
 - ・交配後間がないもの。
- (2) 馬が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、注射の適否の判断を慎重に行うこと。
 - ・発熱、咳、下痢又は重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。

- ・疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの。
 - ・発情中のもの又は分娩直後のもの。
 - ・明らかな栄養障害があるもの。
 - ・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。
- (3) 本剤の注射後、少なくとも2日間は安静につとめ、移動や激しい運動は避けるように指導すること。

2. 副反応

- (1) 本剤の注射後、まれに発熱を認めることがあるが、通常速やかに回復する。
- (2) 副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けるように指導するとともに、副反応に対して適切な処置を行うこと。

3. 相互作用

本剤には他の薬剤（ワクチン）を加えて使用しないこと。

4. 適用上の注意

- (1) 移行抗体価の高い個体では、ワクチン効果が抑制されることがあるので、投与時期を考慮すること。
- (2) 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、常温まで冷えたものを使用すること。
- (3) 本剤容器のゴム栓は70%アルコールで消毒し、滅菌済みの注射針をゴム栓から刺し込み、ワクチンを注射器内に吸引して使用すること。ゴム栓を取り外しての使用は、雑菌混入のおそれがあるので避けること。
- (4) 注射部位は70%アルコールで消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。
- (5) 注射器具（注射針）は1頭ごとに取り替えること。
- (6) 注射部位を厳守すること。
- (7) 本剤を注射した馬と非注射馬とを同居させても、同居感染性は低いことが確認されている。

[取扱い上の注意]

- 乾燥ワクチン瓶内は、真空になっており破裂をしておそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- 溶解は使用直前にを行い、溶解後は速やかに使用すること。
- 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- 使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

[保管上の注意]

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 直射日光、加温又は凍結は、品質に影響を与えるので避けること。
- 溶解用液は凍結すると容器が破損する場合があるので避けること。

注意—獣医師等の処方せん・指示により使用すること

[貯法及び有効期間]

- 遮光して、2～5℃に保存する。
- 有効期間は2年間である（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）。

[包装]

1セット 5頭分（10mL溶解用液添付）

[2014年1月作成]

日生研株式会社
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

1401SK5